

FAPGJ/FCSGJ106Nシリーズ(一般型ガスもれ付) 遮断スイッチ設定表/接点、ジャンパーピン構成図

件名：

型式：

(例：FCSGJ106N-B34-50LT)

新規 年 月 日
更新 年 月 日
発行会社名：
部所：
管理番号：

承認	検証	担当

【はじめに】

本資料は、連動先の遮断スイッチ設定確認とジャンパーピンの設定を行うための準備として記入するものです。現場の仕様に準じて本資料に記載してください。また、設定後は、本記録用紙を大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。なお、本受信機を使用するにはジャンパーピンの設定以外にデータベースの設定も必要です。(TM10860(特盤の場合TM10889)「FAPGJ/FCSGJ106N(一般型ガスもれ付・多回線タイプ)機能設定表」を参照)

【ジャンパー設定の記載方法】
(例)JTTELの設定：1-2間に設定の場合

注)JTTELのみ出荷時より設定済みのため○が付いていますが、変更する場合は×を付ける等の対応をしてください。

【移報接点の構成】

■受信機

- 移報接点の標準装備はF1~F25(PSU基板)です。
- ROU基板(オプション、20点/枚、最大9枚まで)により、F26~F205(最大)まで追加できます。
- F4、5はトランスファ接点、F1~F3は独立したコモンメーク接点、F6~は5接点で1コモンメーク接点です。
- ステータス連動で「異常代表」または「主電源断」にした場合、正常時にリレーがオン状態となり、C-A端子間が導通します。異常時にオン信号が必要な場合は、F4、F5(C接点)のC-B端子間を使用してください。

■P型インターフェイス盤

- SOU基板(20点/枚、最大9枚まで)により、S1~S180(最大)まで追加できます。S1~S180まで全て5接点で1コモンメーク接点です。
- 注)ROU基板、SOU基板は盤のキャピサイズにより枚数が異なります。

【地区音響の使用法】

- BKC-BKF端子は一斉鳴動時に使用できます。
- 区分鳴動はF6~25接点を使用し、地区音響有電圧移報用のジャンパーピンJPF1~JPF4、地区音響一斉鳴動用のジャンパーピンJPA1~JPA4を設定してください。
注)地区音響として使う場合はF6から前詰めで使って下さい。F6~10が無電圧a接点でF11~15を地区音響(有電圧)のような使い方はできません。
- 本機の地区音響回路は、鳴動時マイナスコモン(BKC)です。

【相互電話の使用法】

- 相互電話を行う場合は、ジャンパーピンJTTELを2-3間に設定してください。
- 相互電話が1回路の時：F5のトランスファ接点を使用しジャンパーピンJT1の設定を行います。
- 相互電話が2回路の時：F4、F5のトランスファ接点を使用しジャンパーピンJT2のみの設定、ジャンパー設定の他に端子側(F4C-F5B間)に渡り配線が必要です。

【諸表示(LX)の電源について】

- 諸表示(LX)を受信機電源(I±)から供給する場合、ジャンパーピンJPI-を設定することで、I-とLXCの渡り配線は不要になります。

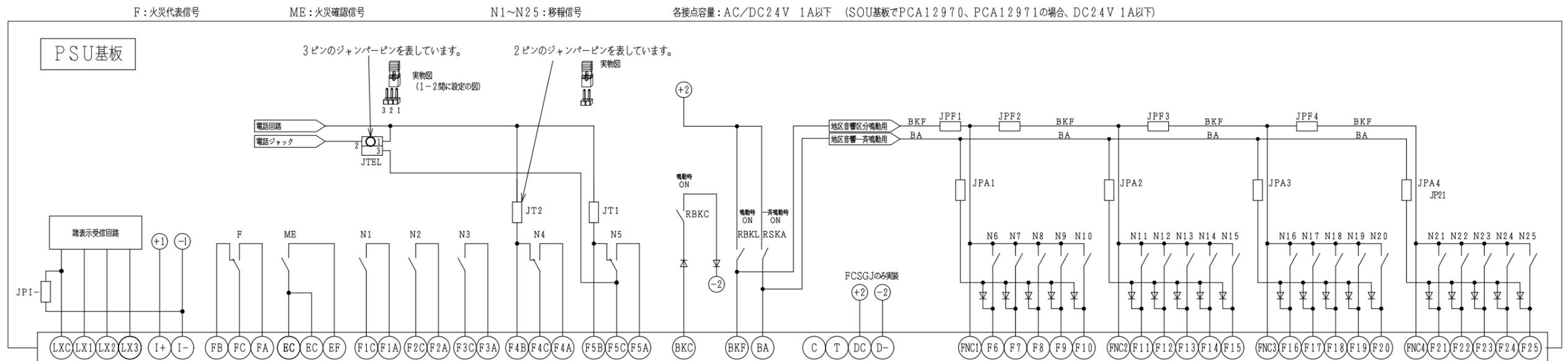
1. 遮断スイッチ設定表 (機能設定表TM10860の2項 オプションスイッチの設定と7項、8項(特盤の場合TM10889の8項、9項) 移報出力回線設定の遮断スイッチ内容と同じものです)

スイッチ名称(標準)	スイッチ名称(変更時)	遮断する接点
非常放送遮断		
火災代表遮断		F接点(FA-FC)※固定
消火栓遮断		
防排煙遮断		

スイッチ名称(標準)	用途	スイッチ名称(変更時)	遮断する接点
OP1	遮断 / ノンロック / ロック		
OP2	遮断 / ノンロック / ロック		
OP3	遮断 / ノンロック / ロック		
OP4	遮断 / ノンロック / ロック		
OP5	遮断 / ノンロック / ロック		

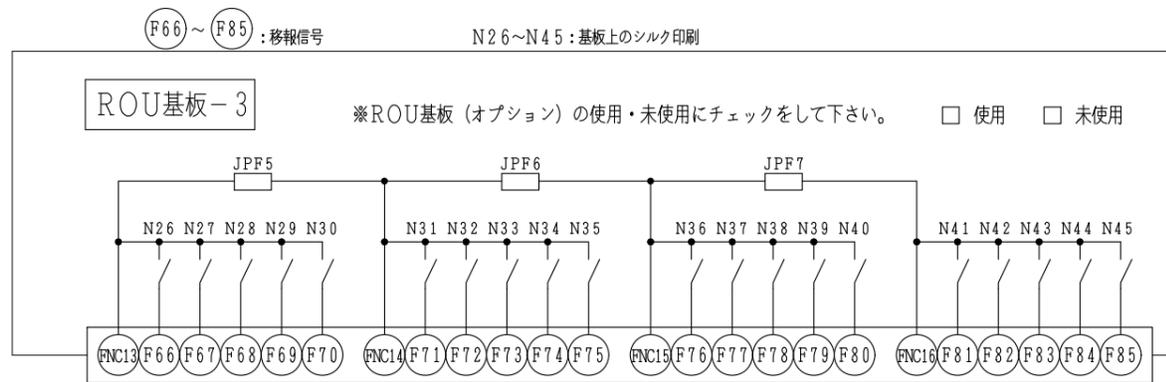
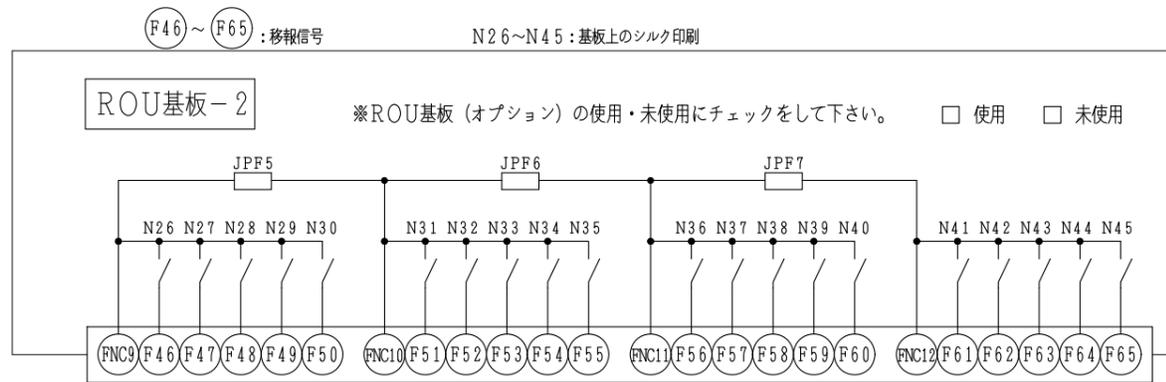
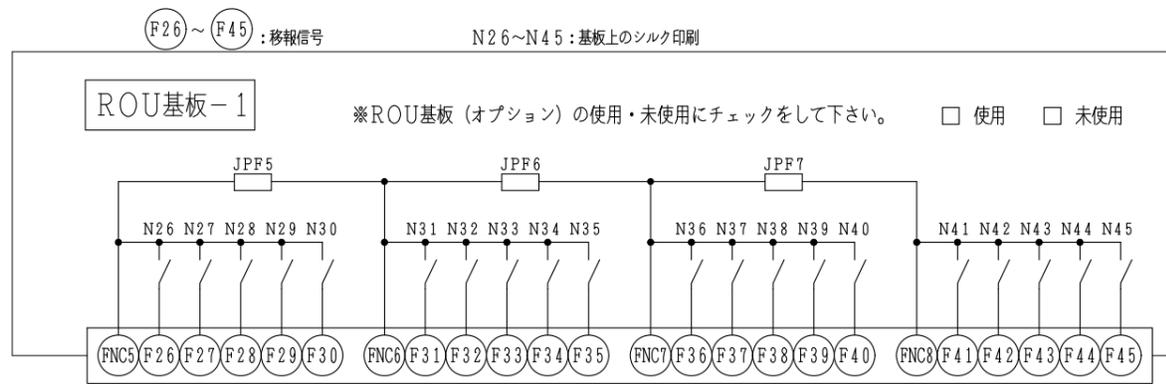
2. 接点、ジャンパーピン構成図 (2-1) PSU基板

- 地区音響出火階直上階鳴動：JPF1、JPA1短絡(F6~10を使用する場合) ■基板内コモン共通化(無電圧)：JPF2~4(F6~F25を使用する場合) 注)JPF1は使用不可 ■相互電話：JTn(1回路時：JT1のみ、2回路時：JT2のみ)
- JPF2~4、JPA2~4短絡(F11~F25を使用する場合) ■諸表示(LX)電源用：JPI-短絡(受信機電源を使用する場合) JTTEL(2-3間)短絡(出荷時は1-2間短絡：相互電話無しモード)



(2-2) ROU基板 (オプション)

- ・ JPF5~7を設定することでコモンの共通化ができます。
- 注) ROU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。



(2-3) SOU基板 (P型インターフェイス盤の手配時)

- ・ JPS1~3を設定することでコモンの共通化ができます。
- 注) SOU基板にて地区音響有電圧出力に対応する事はできません。

【終端設定方法】

- ・ 基板番号がPCA12972以降の場合、末端の基板には終端抵抗用のジャンパープラグJP1、JP2を取り付けてください。

